

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43886

193

④ 現在までのB52撤去に対する政府の態度と矛盾する。

⑤ ヴィエトナムに対する戦闘作戦行動が日本の国益に合致するとの説明が困難である。

⑥ 事前協議の包括的承認であるとの解釈がなされるおそれがある。まわめて大である。

⑦ については、対米交渉上相当の困難が予想される。

⑧ したがって、小官としては、④による解決は、上述の諸点より望ましくないもので、⑦による妥結が不可能な場合には、十一月段階に於いては、「返還前に日米間で協議を行なう」との線によるか、やむをえざれば④による解決を行なうことがこの際採るべき道と考える。